

世界初！ cmap.dev（シーマップ）リアルタイム被害予測

あいおいニッセイ同和損保・エーオンベンフィールドジャパン(株)・横浜国立大学による共同研究の一環で開発したサイトです。

無償！

台風・豪雨・地震の被災状況予測結果をウェブサイトで一般公開します
(予測内容 … 市区町村毎の被災建物棟数、被災件数率)

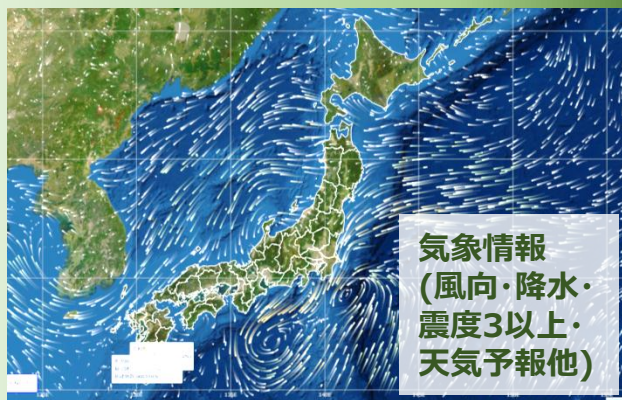
- ✓ 気象・災害を24時間365日監視するウェブサイト新設！
- ✓ 誰でもすぐにご利用いただけます！スマホにもパソコンにも対応
- ✓ 被災直後、被災建物棟数・被災率を予測・公開（世界初）

現在

最初の画面です。常に最新の気象情報を取得し続け、災害に備えています。

平時～被災前

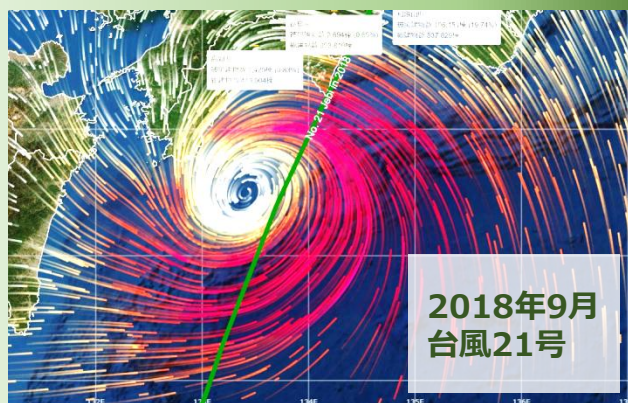
被災直後（豪雨）



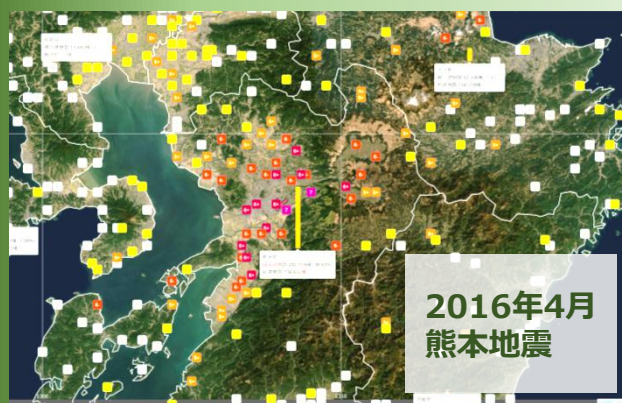
過去

近年の主な台風・地震を再現するメニューです。

台風



地震



Q.目的は？いつ予測？ A.被災規模の早期把握等を目指し、被災直後から予測します。

気象庁情報との比較

	気象庁	cmap.dev
内容	警報・注意報	被災建物数・被災率予測、公開
時期	被災前から	被災直後から
目的	喫緊の防・減災	被災規模の早期把握

予測表示に関する仕様

	予測開始条件	更新時期	表示期間
台風	最大瞬間風速30m/s以上	1時間毎、毎時00分過ぎ	5日間
豪雨	日降水量が最低80mm超過	1時間毎、毎時00分過ぎ	5日間
地震	震度5弱以上	約10分後	3日間

Q.どのように判定？ A.火災保険等の保険金お支払可否を基準として判定しています。

予測表示	判定基準等
被災建物数(分子)	過去データの分析で得られた罹災率係数、市区町村毎の総建物数、最新の気象観測データ等を用いて、保険金お支払可否を基準に判定しています
総建物数(分母)	市区町村毎の建物棟数。保険契約とは無関係。出典は、日本全国の航空写真解析で得られた建物データベースです
被災件数率	台風・豪雨・地震のいずれも、被害の大きさに比例して被災率も上昇します

Q.世界初とは？ A.建物数を用いて被災規模を予測し公開する世界初のサイトです。

	cmap.devの特徴	
1.予測対象	被災建物数・被災件数率(市区町村別)	気象庁が所管する、気象・地象・水象などの予測とは異なります！
2.対象災害	現在発生中の自然災害(台風・豪雨・地震)	発生するかもしれないリスクを想定する「ハザードマップ」「シミュレーション」とは異なります！
3.予測時期	被災直後から予測開始、台風・豪雨は1時間毎に更新	地震は観測後10分以内、台風・豪雨は1時間毎に表示・更新します！
4.公開先	ウェブサイトで一般無償公開	特徴1～4の組合せが世界初です！

URL:<https://cmap.dev>

検索方法:「cmap.dev」で検索

QRコード:



あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP